

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第3グループ(平間・玉川・西加瀬)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新九子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30	
	1 平間こども文化センター ①年間延べ利用者数	39,524人	40,975人	②年間延べ利用団体数	591団体	587団体		
2 平間小学校わくわくプラザ ①登録者数	245人	248人	②年間延べ利用者数	14,273人	16,851人			
3 下河原小学校わくわくプラザ ①登録者数	132人	131人	②年間延べ利用者数	8,871人	9,391人			
1 玉川こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,581人	32,392人	②年間延べ利用団体数	440団体	462団体			
2 玉川小学校わくわくプラザ ①登録者数	278人	273人	②年間延べ利用者数	19,838人	20,522人			
3 下沼部小学校わくわくプラザ ①登録者数	461人	463人	②年間延べ利用者数	33,958人	37,611人			
1 西加瀬こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,224人	34,880人	②年間延べ利用団体数	374団体	344団体			
2 荻宿小学校わくわくプラザ ①登録者数	266人	291人	②年間延べ利用者数	19,476人	23,220人			
3 木月小学校わくわくプラザ ①登録者数	167人	183人	②年間延べ利用者数	12,703人	15,464人			
収支実績	単位:円							
1 収入								
指定管理料	161,693,451							
2 支出								
人件費	130,514,472							
管理費	10,844,568							
事務経費	8,138,596							
その他経費	9,103,743							
合計	158,601,379							
3 差引	3,092,072							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・新たなクラブとして、平間こども文化センターでは「ちびっこファーム」、「花いっぱいクラブ」を立ち上げた。子どもたちは、花や野菜の栽培を通して、いのちの大切さを学ぶとともに土作り等を協働することで、自主性や協調性等を学んだ。 ・玉川こども文化センターでは、高校生と幼児親子の交流事業である「びっくりばこ」を実施した。橋高校の生徒が幼児と遊具で遊ぶ等交流を図るとともに親から子育てについての話を聞くことでいのちを育てる大切さを学んだ。 ・新たな取組として、下河原小学校わくわくプラザでは、地域の音楽グループと連携し「アコーディオンコンサート」を実施した。子どもたちも合唱や演奏に参加することで、音楽に触れる機会を提供した。 ・こうした取り組みの結果、中原区第3グループ全体の利用者数が昨年度と比較し約3,000人増加した。				
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
	(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。 ・特別な配慮を要する児童への対応について、持病のある児童を適切に処遇するための研修を開催し、発作が起きた場合の応急処置等の対応方法を学び、児童への理解をスタッフで共有化するなど、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携について、西加瀬こども文化センターでは、荻宿小学校の子ども110番会議に参加し情報共有を行うとともに地域での不審者対応等地域課題を話し合っており、110番施設をめぐる「荻宿クエスト」に協力する等、地域課題を共有しながら、連携した取組を行っている。 ・施設・事業の広報について、乳幼児や中高生たよりを発行し、対象年齢を捉えた広報を行っているとともに、特に平間こども文化センターでは、おたよりに児童が書いたイラストを掲載する等の工夫を行っている。また、西加瀬こども文化センターでは、アプリやSNSを活用しており、アプリを見て行事に参加する乳幼児親子が来館する等、様々な媒体を用いた広報を行っている。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおりに開催されている。 ・保護者懇談会の実施について、事業計画どおりに開催されている。				

組織管理体制制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びびわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、職員が市の研修を受講するとともに、法人としての基礎的な研修が行われており、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。さらに、グループ研修として「野外活動研修」を実施し、レクリエーションやロープワーク、虫よけスプレー作りを実施した。レクリエーションは宿泊キャンプ等の野外活動行事だけではなく、わくドキタイムで活用し、虫よけスプレーは夏休みのわくわくプラザ運営に活用した。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理について、施設や設備の点検や備品の点検がなされており、必要に応じた維持・補修が行われている。 ・利用者の安全を確保するため、マニュアル等が整備されているとともに、事故防止・感染症予防が図られている。また、事故等の発生時には迅速かつ適切な対応が図られている。 ・防犯対策及び災害時の対応について、防犯対策や災害等の発生に備え、対応マニュアル等が整備されているとともに職員に周知がなされているとともに、災害発生時等に適切な対応が図れるよう消防・避難訓練を実施している。また、平間小学校わくわくプラザでは、プロレスラー団体と連携した防犯スポーツ教室を開催し、子どもたちに犯罪や事故から身を守る行動を学ぶ機会を提供し、自助意識向上に努めている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループのこども文化センター及びびわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。

特に、西加瀬こども文化センターでは、館研修として川崎市子どもの権利条例に関する研修を行っており、実践事例をととして言葉のかけ方を学び、職員が条例を理解して児童の健全育成に努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもが顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、より一層利用者の安全を確保するために、他施設や類似施設等でのヒヤリハット事例等の検討を各施設単位で行い、対応策を立案し職員間で共有する等、さらなる安全確保の取組を行うことが望ましい。